



日本公認会計士協会

埼玉県会 CPAニュース

第9号 2012. 1. 1



埼玉県会親睦旅行（韓国済州島三聖門）

CONTENTS

会長あいさつ	2
県知事メッセージ	3
東京会会長あいさつ	4
前会長あいさつ	5
事業報告	6～7
県会行事	8～11
事務局だより	12～14
会員コーナー	15～16
県会業務推薦コーナー	17
行事写真集	18
役員等名簿	19
編集後記	20



埼玉県のマスコット コバトン



新年のごあいさつ

日本公認会計士協会
埼玉県会 会長
荒井 伸夫

平成24年の新年にあたり、埼玉県会の会員の皆様には、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、日頃より埼玉県会の事業及び会務にご協力をいただき、心より厚く御礼を申し上げます。

リーマンショックの影響もいくらか和らぎ、景気もやや回復基調となった平成23年の滑り出しでしたが、3月11日に東日本に巨大地震が発生し、それに伴う大津波と東京電力福島第一原子力発電所の事故によって東日本は未曾有の被害を被りました。犠牲になられた方々のご遺族の皆様に深くお悔やみを申し上げ、被災された多くの皆様に心よりお見舞いと、被災地の皆様の1日も早い復興を心からお祈り申し上げます。この震災は、私たちに命の尊さ、家族の絆を再認識させ、リスクに対する心構えの大切さを改めて教えてくれました。

昨年は公認会計士業界にも激震がいくつも起こり、大きく揺れ動いた1年でした。年初めの企業財務会計士創設を含む公認会計士法改正問題、これは廃案となり事なきを得たものの未就職者問題は依然として解決されず、更にIFRSの導入問題、税理士法改正問題、そしてオリンパス、大王製紙事件と難題の波が打寄せています。

この様な環境の中で、会長として3年目の最終年度は、埼玉県会の内部体制の強化に力を注ぎました。先ず、事務局の強化です。これまで事務局員1名体制でしたが、会員数、事務量の増加に伴い1名を増員して、会員への連絡やHPの更新などきめの細かい対応ができるようになりました。また、東京会のご理解を得て、空室となった隣室約70㎡を借り増しして新たな事務室とし、従来のスペースは全て研修室としました。これにより、埼玉県庁を始めとしたお客様の応接のための会議室が確保でき、広くなって約100名が利用できる研修室や、談話コー

ナーの新設など会員の皆様の利便性向上に資することができたと思っています。

次に、委員会活動の活発化です。新たに4つの委員会を立ち上げました。いずれも喫緊の皆さん関心のあるテーマを対象にしていますが、この活動に多くの会員が参加し、自分自身の実力アップとともに親睦、社会貢献を深めていただければと思っています。そしてこのことが県会の活性化に結びついてくるのだと思います。特に、埼玉県会では、埼玉県やさいたま市、川越市、所沢市など地方自治体からの推薦依頼が多く、公会計はこれから必要不可欠の知識になるはずで、すべての市町村に公認会計士の監査委員を推薦することを目指して、公会計の基礎の基礎を一緒に勉強していきましょう。県会事務所を拠点とした本部ライブ中継やDVDミニ研修、川越巡回研修、今年度新設の越谷巡回研修など、CPE40単位県内取得に向けた研修体制も充実してきました。

東京会の中に、神奈川県会の地域会化支援のための検討委員会ができました。神奈川県会は約1,300名の会員を擁し、今年6月地域会創立を目指して動き始めています。埼玉県会は、未だ650名弱なので、当面は神奈川県会の動きを見守っていくこととなりますが、今後の会員数の増加にあわせて、県会のまま東京会に残るのか地域会として独立するのか判断しなければならなくなるでしょう。その間、PTを立ち上げ人材面、財務面その他多角的に検討し議論を重ねていきたいと思っています。

今後とも、研修と親睦を両輪としながら業務と広報を充実させ、皆様とともに公認会計士としての使命を果たしていく所存でございます。本年も会員の皆様のご支援とご協力を宜しくお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



復興から日本再生へ

～埼玉の挑戦～

埼玉県知事

上田 清司

日本公認会計士協会埼玉県会の皆様、新年明けましておめでとうございます。皆様には、健やかに平成24年の新春をお迎えのこととお喜びを申し上げます。

欧州の経済危機による著しい円高や株安、タイの洪水被害など企業を取り巻く環境が急激に変化する中、公認会計士の皆様の役割は一層重要になっていると認識しております。皆様が社会の要請に応えるべく日々御尽力されていることに深く敬意を表する次第です。

昨年は東日本大震災という過酷な出来事がありました。新しい年は、一刻も早い被災者の皆様の生活再建と被災地の復興を果たし、そしてその先に新しい日本を築いていく、そんな1年にしたいと思います。

原子力発電所の事故によって、電力エネルギーの3割を原子力に依存している実態が浮き彫りになりました。私たちは、今こそ再生可能エネルギーの活用や未来型省エネ技術の開発と、それらを生かしたまちづくりに取り組む必要があります。本県では、エネルギーの地産地消に市町村単位で取り組むエコタウンプロジェクトを進めていきます。

私は、日本は世界で最も素晴らしく、そして美しい国だと思います。次世代にこの良き日本を引き継ぐには、新しい産業を育てていくこと、誰もが働きやすい社会をつくること、そしてアクティブな健康長寿社会を築くこと、この3点が鍵になると思います。

まず新しい産業を育てることが必要です。グローバル化が進む中で、我が国の産業構造は変

革を迫られています。県内企業が持つ高い技術力をグローバルな舞台で生かすイノベーションの支援を徹底的に進めていきます。

また、イノベーションの鍵は人材です。県では10億円の基金を設けグローバル人材の育成に取り組んでいます。この取組を更に充実し、人材育成の面からもイノベーションを支えていきます。

誰もが働きやすい社会のお手本が北欧諸国です。人口規模が埼玉県より小さい国々が1人当たりGDPでは世界上位を占めています。女性の社会進出が進んでおり、女性の高い就業率が家計所得と消費を押し上げ、経済を元気にしています。勤勉さをはじめとした日本の良さに北欧型の女性の社会進出を加え、誰もが働きやすい埼玉づくりを県と経済界、労働界が一体となって進めていきます。

健康長寿社会という点では、国民医療費の約3分の1が生活習慣病によるものだと言われています。その対策を徹底することができれば国民負担を大きく減らすことができます。国全体で徹底することは困難ですが、意欲ある市町村が本気になって取り組めば大きな成果が期待できます。医療費を減らすだけでなく、高齢者が社会にアクティブに参加していく健康長寿社会の枠組みを市町村と一緒につくっていきます。

これらの取組はまさに大きな挑戦です。素晴らしい企業と人材が集まる埼玉ならそれができる。私はそう信じています。

県民の皆様、地方からこの国を変える埼玉の挑戦にぜひ一緒に取り組みましょう。



年頭のご挨拶

日本公認会計士協会
東京会 会長

小西 彦衛

新年おめでとうございます。

埼玉県会の皆様には、新しい年を健やかに
お迎えのことと存じます。

昨年は公認会計士資格にかかる法律改正の
動きと企業統治に関する問題事案があり、ま
た東日本大震災等、国内外で大きな災害が発
生しましたが、新しい年を迎え、気持ちを新
たにして物事を前向きに進めてまいります。

公認会計士監査に係る企業不祥事の事
案が発生していますが、企業の経営と監査に
ついて制度面と人的側面の尚一層の改善を図
るためには、専門性と独立性を改革の視点に
することが肝要であると考えます。

地域主権を標榜して地方自治法の抜本的な
検討が行われていますが、その動向を注視し
ながら、地方公共団体やその関係者と県会な
らではの関係を充実することが有効であると
考えています。

中小企業等の経営環境が依然として厳しい
中で会員の皆様が地域の経済社会への役立ち
を心がけていることと存じます。東京会も埼
玉県会と協働して会員の業務支援と業務拡充
に努めてまいります。

税理士法改正提案にある能力担保措置に反
対する意思を明瞭にするために、会員・準会
員による署名活動をお願いしましたが、本稿
執筆時点では、全国で73%（約22,600名）、東
京会で71%（約15,100名）の皆様の署名を頂

きました。私どもは幅広い職業会計人が税務
業務を担うことが国民経済の健全な発展に寄
与すると訴えています。この際に皆様から頂
いたご意見も尊重してまいります。

33地区会を5ブロックに編成しましたが、
都内4ブロックで研修会・会務報告・意見交
換会の活動を始めました。ブロック制の目的
の一つである情報伝達と意見収集の体制の改
善を優先しています。広域に亘る県会ブロッ
クでは会員の皆様が一か所に集合することが
実際的でないこともあり、例えば隣接県会合
同の活動等、各県会役員の皆様のお知恵を頂
きたいと思えます。

協会の組織ガバナンスの観点から東京会が
大きすぎると言われてきましたが、要点は協
会内における情報交流と人材活用です。東京
会を細分するとき、対外活動を含む多くの
ことを自己完結的に活動している県会の独立
も一つの方法であると考えます。その際に会
員サービスを低下させない工夫が必要であり、
地域会として独立運営しつつ、東京会と合同事
業を行うことが考えられます。

埼玉県会では在住会員制度の発足時から在
住会員の受け入れを図っていただきました。
監査法人等を退職して居住地を事務所所在地
にする会員の動向に備える施策になっていま
す。引き続き在住会員制度を活かして頂きた
いと思えます。

埼玉県会の県会事務所は外光が入って明る
いという印象です。この度の増床によって利
便性が向上して、県会活動を一層活発に展開
していただけると期待しています。

本年も埼玉県会の皆様とともに明るい年に
しましょうと申し上げて新年のご挨拶といた
します。



皆さん、新しい年を健やかに迎えになったことと思います。昨年は、東日本大震災、福島原発事故等々、自然災害・人災も含めて、日本全体が大変な年でした。今年こそは良い年になって欲しいと心から祈っております。

さて、私も、皆さんに大変お世話になりました埼玉県会の会長職を終えてから、3年が経過しようとしています。

当初、県会長を退任したら、個人的には少しのんびりして…テニスやゴルフをやったり、年2、3回は海外旅行に行ったり、冬は温泉にでも行ってリラックスをして…と、色々考えていましたが現実はそんなに甘くありませんでした。

会長終了の年度から、諸般の事情により、さいたま市の監査委員に就任することとなりました。また、さいたま市の監査委員が埼玉県後期高齢者医療広域連合の監査委員を兼ねることになっているようで、結局、そちらの監査委員にも就任しました。その結果、毎月3日前後は監査委員の仕事でつぶれてしまいます。任期は4年間ですので、あと約1年半勤めなければなりません。

本業の監査業務については、リスクアプローチに基づく監査手法や協会本部の品質管理レビュー制度について、多少は慣れてきたとはいえ、日々ストレスを感じながら、業務をこなしている状況です。また、税務業務に

についても、長引く不景気のなか、クライアントの資金繰りを心配しながら、種々の対応策に追われているのが現実です。

埼玉県会については、東京会の予算承認を得て、荒井会長のもと、県会事務所を増床し、新しく研修会場と事務局を設けてもらいました。これにより、更に充実した研修会・会議等が行える環境がハード的には整ったのではないかと考えております。

そういった意味では、埼玉県も、東京会における地区会としての立場から、地域会として独立する第一歩を踏み出せたのではないのでしょうか。

現在、神奈川県会が、地域会として独立する方向でPTを結成し検討段階に入っているという話を聞いておりますが、埼玉県会としても、その状況を慎重に分析し、地域会化に向けて対応していくことが必要と思われます。

いずれにしましても、県会会員一人一人の独立に向けた強い意志と協力がなければ、成し得ない大きな仕事だと思えます。これからの執行部の活躍に大いに期待をしております。

最後になりますが、最近、大手監査法人の関与先であります国際的な優良企業、あるいは一部上場の地方企業による不祥事が、私どもの業界を震撼させております。こうした事件について、公認会計士として、どう考えたらよいのでしょうか。内部統制監査は、リスクアプローチによる監査手法は、このままでよいのでしょうか。徹底的な検証が必要です。

また、協会本部の対応策は、今後どうすべきなのでしょう。協会本部のガバナンスは、今まで通りでよいのでしょうか。

公認会計士業界全体の問題として、抜本的な見直しを真剣に検討すべき時期にきているのではないかと痛切に思っております。

平成22年度 事業報告

(H22. 4. 1 ~ H23. 3. 31)

1. 会員及び準会員数 (平成23年 3月31日現在)

会 員	4 9 2 名
準 会 員	1 5 2 名
合 計	6 4 4 名
在 住 会 員	4 1 名

物 故 会 員	大澤三千雄 殿 (平成22年12月17日)
	矢島 和彦 殿 (平成23年 2月10日)
	木村 繁男 殿 (平成23年 3月28日)

2. 事業報告 (及び活動報告)

平成 22 年	4月6日(火)	川越市長表敬訪問
	4月8日(木)	川口市市長表敬訪問
	4月9日(金)	月次勉強会 (集合研修DVD) 監査の品質管理研修
	4月11日(日)	親睦ゴルフ会 (吉見ゴルフ場)
	4月12日(月)	埼玉県朝霞地方庁舎ほかエコオフィス化改修事業提案選定会議委員の推薦
	4月21日(水)	東京会役員会
	4月24日(土)	正副会長会議
	5月10日(月)	定例常任幹事会
	5月12日(水)	埼玉県再生支援協議会「全体会議」
	5月14日(金)	監事監査
	6月8日(火)	東京会役員会、定期総会
	6月10日(木)	定例常任幹事会
	6月11日(金)	協会本部全国研修会 (ライブ配信)
	6月16日(水)	川越市公開事業点検に係る点検人、川越市外郭団体検討委員会に係る外部委員の推薦
	6月24日(木)	協会本部全国研修会 (ライブ配信)
	6月25日(金)	埼玉県県民健康福祉村指定管理者選定委員会委員の推薦
	6月26日(土)	役員会、定期総会、懇親会 研修会「知っておきたいIFRSの基礎知識」
	7月1日(木)	公益法人勉強会第1回
	7月7日(水)	協会本部定期総会 (ライブ配信) 埼玉友好士業協議会定例会・懇親会
	7月8日(木)	自民党塩崎衆議院議員、古川参議院議員が埼玉県会を表敬訪問
	7月20日(火)	埼玉県社会保険労務士会と友好士業当番会引継ぎ地区会長会議、東京会役員会
	7月23日(金)	埼玉県福祉部障害者福祉推進課指定管理者選定委員会委員の推薦
	7月29日(木)	公益法人勉強会第2回
	7月30日(金)	所沢市と面談、埼玉県都市整備部と面談
	8月3日(火)~4日(水)	協会本部夏季全国研修会 (ライブ配信)
	8月3日(火)	埼玉県管公園指定管理者候補者選定委員会委員の推薦
8月5日(木)	埼玉県社会福祉総合センター指定管理者候補者選定に係る選定委員会委員の推薦	
8月11日(水)	正副会長会議、さいたま方法務局と面談	
8月13日(金)	埼玉県長瀬総合射撃場クレー射撃場のあり方検討委員会委員、埼玉県防災学習センター指定管理者候補者選定委員会委員、さいたま方法務局へ公共サービス改革法に基づく民間競争入札における評価委員会委員、埼玉県青少年総合野外活動センター指定管理者候補者選定委員会委員の推薦	
8月17日(火)	定例常任幹事会、公益法人勉強会第3回、懇親会	
8月19日(木)~20日(金)	協会本部夏季全国研修会 (ライブ配信)	
8月30日(月)	埼玉県、さいたま市を訪問	
8月31日(火)	実践! 「新公益法人制度」移行セミナー及び懇話会	
9月7日(火)	公益法人制度の認定・認可に係る研修会	
9月9日(木)	新公益法人制度移行についての個別相談会	
9月14日(火)	埼玉友好士業協議会第1回幹事会	
9月15日(水)	埼玉県教育局と面談、埼玉県農林部へ埼玉県指定管理者候補者選定委員会委員を推薦	
9月24日(金)	定例常任幹事会、月次勉強会 (DVD研修) 「職業倫理に係る具体的な諸規則と事例」	
9月27日(月)	埼玉県教育局へ埼玉県立げんきプラザ指定管理者選定に係る審査委員を推薦	
10月6日(水)~8日(金)	協会本部秋季全国研修会 (ライブ配信)	

平成 22 年	10月12日(火)	埼玉友好士業協議会第2回幹事会
	10月14日(木)	9県会会長会議、移動役員会 第39回公認会計士フォーラム群馬大会、懇親会
	10月20日(水)	所沢市包括外部監査人の候補者を推薦 東京会学校法人監査連絡協議会
	10月23日(土)	巡回研修会川越大会「中小企業経営者の銀行との付き合い方」、懇親会
	10月27日(水)	定例常任幹事会
	10月28日(木)	埼玉県住宅供給公社へ外部監査人候補者を推薦
	10月29日(金)	(社福) 埼玉県社会福祉事業団へ外部監査人を推薦
	11月1日(日)	埼玉県住宅供給公社へ外部監査人候補者を推薦
	11月7日(日)	日本スリーデーマーチ (東松山)、懇親会
	11月11日(木)	(財)埼玉県教職員互助会と面談、外部監査人を推薦
	11月12日(金)	埼玉県知事特別秘書と面談 (CPAニュース原稿依頼)
	11月13日(土)	埼玉友好士業「暮らしと事業のよろず相談会」
	11月15日(月)	埼玉県宅地建物取引業協会法定講習会の講師の推薦
	11月18日(木)	埼玉友好士業親睦ゴルフ大会 (鴻巣カントリー)
	11月26日(金)	月次勉強会 (DVD研修) 「中小企業における事業承継対策の事例及びその税務上の効果や影響について」
	11月30日(火)	埼玉新聞社会福祉事業団へ埼玉友好士業協議会親睦ゴルフ大会チャリティ募金を持参
	12月3日(金)	編集会議、公益法人支援委員会準備会議
	12月7日(火)~10日(金)	協会本部冬季全国研修会 (ライブ配信)
	12月16日(木)	定例常任幹事会
	12月17日(金)	埼玉県再生支援協議会「全体会議」
	12月18日(土)	定例研修会「企業価値評価上の論点」「現在の公認会計士を取り巻く問題」、忘年会
	1月1日(土)	埼玉県会CPAニュース第8号発行
	1月5日(水)	常任幹事会、推薦委員会、新年会
	1月6日(木)	埼玉新聞主催賀詞交換会
	1月11日(火)	協会本部新春全国研修会 (ライブ配信)
	1月18日(火)	東京会役員会・地区会長会、新年会 公益法人支援委員会準備会議
1月20日(木)	埼玉県福祉課へ社会福祉施設等監査指導にかかる公認会計士の推薦	
1月21日(金)	埼玉県学事訪問 (研修会講師のお願い)、同福祉部訪問	
1月24日(月)	川越市包括外部監査人の推薦	
2月1日(火)	埼玉県労働局と面談	
2月3日(木)	公益法人支援委員会及び懇親会	
2月9日(水)	定例常任幹事会	
2月18日(金)	定例研修会「幼稚園法人の検査と財務状況について」「グループ法人税制について」 埼玉県労働局へ埼玉地方最低賃金審議会委員の推薦	
2月21日(月)	埼玉県都市整備部公園スタジアム課と面談	
2月23日(水)	埼玉友好士業協議会幹事会	
2月25日(金)	所沢市指定管理者選定委員会委員の推薦	
2月28日(月)	埼玉県企画政策部へ埼玉高速鉄道株式会社経営懇話会の委員の推薦、埼玉県都市整備部へ財団法人埼玉県公園緑地協会監事の推薦	
3月15日(火)	財団法人埼玉県健康づくり事業団へ監事を推薦	
3月23日(水)~25日(金)	協会本部春季全国研修会 (ライブ配信)	
3月24日(木)	定例常任幹事会	

平成23年度 中間事業報告

(H23. 4. 1 ~ H23. 11. 30)

1. 会員及び準会員数 (平成23年11月30日現在)

会 員	5 1 5 名
準 会 員	1 4 8 名
合 計	6 6 3 名
在 住 会 員	4 3 名

物 故 会 員	森 和夫 殿 (平成23年7月6日)
	※準会員
	茂中 美喜夫殿 (平成23年7月27日)

2. 事業報告 (及び活動報告)

平 成 23 年	4月6日(木)	埼玉県下水道管理課と面談
	4月10日(日)	埼玉県会有志による東日本大震災チャリティーゴルフ (大麻生ゴルフ場)
	4月11日(月)	埼玉県下水道管理課へ埼玉県下水道経営懇話会委員の推薦
	5月9日(月)	定例常任幹事会 埼玉県消費生活課と面談
	5月12日(木)	財団法人いきいき埼玉監事の推薦
	5月13日(金)	監事監査 埼玉りそな銀行産業協力財団と面談
	6月6日(月)	千葉県会懇親会
	6月9日(木)	定例常任幹事会 上田県知事表敬訪問
	6月13日(月)	埼玉県産業拠点整備課と面談 埼玉県企業局経営懇話会委員の推薦
	6月15日(木)	東京会役員会、定期総会、懇親会
	6月17日(金)	女性会員における士業交流会
	6月25日(土)	役員会、定期総会、懇親会 定例研修会 (組織戦略・理想の組織とは)
	7月5日(火)	正副会長会議
	7月6日(水)	協会本部定期総会 (ライブ配信)
	7月7日(木)	埼玉友好士業協議会定例会・懇親会
	7月11日(月)	さいたま市にさいたま市保育園設置・運営法人選定会議委員を推薦
	7月14日(木)	上田埼玉県知事選挙事務所陣中見舞い
	7月20日(木)	埼玉県不動産鑑定士協会と埼玉友好士業協議会 当番会引継ぎ
	7月22日(金)	さいたま市と包括外部監査人の件で面談
	7月27日(木)	地区会長会議、東京会役員会
	7月29日(金)	定例常任幹事会
	8月3日(木)	埼玉県道路公社監事の推薦
	8月4日(木)	埼玉県営公園指定管理者候補者選定委員会委員の推薦
	8月4日(木)~5日(金)	協会本部夏季全国研修会 (ライブ配信)
	8月18日(木)~19日(金)	協会本部夏季全国研修会 (ライブ配信)
	8月24日(木)	埼玉県産業文化センターと埼玉県会事務所増床の件 で面談
	9月2日(金)	深谷市と面談 新規採用者書類審査
	9月7日(木)	定例常任幹事会 新規採用者面接
	9月9日(金)	深谷市外部評価委員を推薦
	9月13日(火)	埼玉県会ホームページリニューアルについて業者と 打ち合せ
	9月15日(木)	埼玉県不動産鑑定士協会と面談
	9月16日(金)	埼玉県生涯学習文化財課と面談
9月19日(祝)	埼玉県会親睦ゴルフ大会 (鷹ゴルフ倶楽部)	
9月29日(木)	埼玉県会学校法人委員会打ち合せ	
9月30日(金)	月次勉強会 (CD-ROM:「倫理規則」等改定に伴う 今後の実務上の留意事項について)	
10月5日(木)	定例常任幹事会 埼玉県教育委員会に埼玉県立名栗げんきプラザ 指定管理者選定委員会に係る選定委員を推薦	

平 成 23 年	10月5日(木)~7日(金)	協会本部秋季全国研修会 (ライブ配信)
	10月6日(木)	増床についての打ち合わせ 埼玉県会公会計委員会第1回勉強会
	10月7日(金)	埼玉県文書課に埼玉県公益法人認定等審議会委員候補者の推薦 さいたま地方裁判所川越支部に株式の鑑定に係る評 価人を推薦
	10月12日(水)	役員会
	10月13日(木)	公認会計士フォーラム山梨大会
	10月17日(月)	増床についての打ち合わせ
	10月18日(火)	東京会学校法人監査連絡協議会
	10月19日(水)	増床についての打ち合わせ 埼玉友好士業協議会幹事会
	10月22日(土)	巡回研修会川越大会 (サービサーとの付き合い方) 懇親会
	10月27日(木)	埼玉県会ホームページリニューアルについて業者と 打ち合せ
	11月5日(土)	日本スリーデーマーチ (東松山)、懇親会
	11月12日(土)	埼玉友好士業協議会「暮らしと事業のよろず相談会」 埼玉友好士業協議会親睦ボーリング大会
	11月15日(火)	越谷市長表敬訪問 巡回研修会越谷大会 (CD-ROM平成23年度消費税 改正&消費税質疑応答事例集) 懇親会
	11月16日(水)	定例常任幹事会
	11月17日(木)	埼玉県競輪開催業務委託事業者審査委員会委員の推 薦
	11月28日(月)	さいたま市下水道事業審議会委員の推薦



埼玉県のマスコット コバトン

■ 定期総会 ■

小山 彰

平成22年度定期総会は昨年6月25日（土）にホテルブリランテ武蔵野・サファイアの間において午後1時00分から71名の出席者を得て開催されました。

同総会は土屋常任幹事の司会で進められ、議事は荒井会長が議長となって進行されました。

総務担当の私が以下の①から④までの項目について議案の説明を行い、⑤については荒井会長が提案をされ、全ての事項について会員の皆様の慎重な審議を経た上でご承認をいただきました。

- ① 平成22年度会務報告
- ② 平成22年度収支計算書
- ③ 平成23年度事業計画
- ④ 平成23年度収支予算書
- ⑤ その他 県会事務所の増床について

このうち③の平成23年度事業計画においては、重点施策として、県会の活性化を図るため、公益法人支援、公

会計、学校法人、埼玉県会活性化促進委員会の4つの委員会を設置することを決めました。

また、⑤については、荒井会長より、会員の増加により、現状では研修会などで使用する場合狭小となっていること、埼玉県など行政機関の打ち合わせなどが頻繁に行われているが、現在のスペースでは不都合であること、隣室が空くとこの情報がありタイミング的には良いと判断されること、などの説明がなされ、県会員の皆様のご承認をいただきました。

今後は、前述の4つの委員会の活動などのため、増床していただいた県会事務所を有効に活用すべく努力してまいります。

定期総会に引き続き、午後2時40分から定例研修会が行われました。

「組織戦略（理想の組織とは）」題して、会員の高梨智弘先生を講師にお招きして熱心な講義をしていただきました。

また、4時40分から30分余りの時間で、野崎・浅井東京会副会長による東京会の会務報告が行われました。

さらに、5時半から懇親会が開催されました。懇親会は、親睦担当の平山副会長の司会のもと、終始和やかな雰囲気の中で進められ、荒井会長の挨拶、来賓の方々のご紹介・ご挨拶、真下元会長の乾杯の音頭と続き、しばしの歓談の後、宮原前会長の中締めで終了しました。

懇親会に出席していただいたご来賓の方々は以下の通りです。

- 高梨 智弘先生（講師）
- 山崎 彰三 本部長
- 野崎 一彦 東京会副会長
- 浅井 万富 東京会副会長
- 大島 良弘 千葉県会長
- 岡田 敏男 千葉県会副会長
- 小野 利也 東京会総務課長



■ 自治体の首長への表敬訪問 ■

埼玉県知事表敬訪問

佐久間仁志

埼玉県には、包括外部監査や各種関連団体の監査委員等で大変お世話になってきましたが、平成23年6月9日に埼玉県庁に上田清司埼玉県知事を表敬訪問しました。表敬訪問の目的は、平成23年7月7日に開催された埼玉友好士業協議会の定例会への出席をお願いするためでしたが、埼玉県会のPRも兼ねていました。埼玉県会からは、荒井伸夫会長、小山彰副会長、平山孔嗣副会長、佐野勝正副会長および佐久間仁志の5人が参加しました。

和やかな雰囲気の中、荒井会長から、埼玉県会の組織、埼玉県の地域社会に対する使命および役割、活動方針、埼玉県内の業務に係る推薦状況などについて説明をしました。これに対し、上田知事からは、埼玉県内の社会経済の適正な発展のために埼玉県会の役割に期待しているとのこと返事をいただきました。

埼玉県に対し、埼玉県会を改めてアピールする絶好の機会となりました。



越谷市長表敬訪問

佐野 勝正

平成23年11月15日、高橋勉越谷市長を越谷市役所に表敬訪問しました。今年度においては、同年6月9日に埼玉友好士業協議会における当番会として、荒井伸夫埼玉県会会長他県会役員で、上田清司埼玉県知事に対し7月7日に開催される埼玉友好士業協議会の定例会への出席をお願いにあがったことに続くものです。

埼玉県会からは蛭川俊也東京会副会長、荒井伸夫県会会長、小山彰同副会長、佐久間仁志同副会長、地元の越谷市から中村甫尚会員、長谷川俊晴会員、佐野勝正業務担当副会長が参加し、市からは武藤繁雄副市長、竹岡市長公室長が同席されました。

冒頭、蛭川俊也東京会副会長より、本部及び東京会の組織概要、推薦体制、平成22年度の推薦実績の説明があり、続いて県会会長より、県会としての推薦体制、今年度の推薦実績、越谷市に住む公認会計士数の説明がなされ、地元で活躍されている県会会員の活用を呼び掛けました。

市長からは今回の訪問に対し謝意が述べられ、市の名称の謂われに続き、越谷市の概況（人口、鉄道等の交通網、越谷レイクタウンなどの住宅開発）について説明がなされました。越谷市は、329千人（平成23年11月1日現在、埼玉県内5番目）を超える人口を擁する埼玉県東部地域の中心都市として、平成15年4月1日に特例市へ移行し、平成27年4月1日に、埼玉県内では川越市、所沢市に続く中核市への移行を目指しています。

退室前に市長を囲み、越谷市の全景を写した航空写真をバックに、訪問記念の集合写真を撮り、表敬訪問を終えました。



■ 巡回研修会 ■

巡回研修会川越大会

猪鼻 正彦

10月22日土曜日、「サービサーとの付き合い方」というテーマで研修会を開催致しました。講師はミレニアム債権回収株式会社代表取締役 役 検本浩司氏にお願いしました。

川越研修では、これまで「銀行との付き合い方」、「銀行は企業（中小企業）の何を見ているのか」、といったテーマを2度ほど企画したことがあります。我々の関与先である中小企業では、債務が「サービサーに譲渡される」という状況も想定されると考え、その場合、会社の運命（更には社長の運命）はどうなるのだろうかという思いで今回のテーマを企画致しました。

やはり、サービサーのことはサービサーに聞くのが一番だと実感でき、とても参考になる講義内容でした。講師の先生にも懇親会にご参加いただきました。今回は初めて川越研修に出席された会員が4名いらっしゃいましたが、いずれも狭山市、所沢市の方々に、うち2名には懇親会にもご出席いただきました。川越研修はそもそも県会事務所までの交通手段が不便な西部地区で研修会を開催したらどうだろうという提案から始まったものですが、新しい会員の参加は担当者として嬉しいかぎりです。

今後も続けていきたいと思いますので、テーマ等についてアイデアがございましたらお知恵をお貸しいただきたくお願いいたします。



巡回研修会越谷大会

長谷川俊晴

新年あけましておめでとうございます。昨年の念頭には予想だにできなかった東北大震災、欧米の債務危機、世界政情不安などが起きてしまいましたが、今年は平穏な年で、震災からの復興、世界情勢の安定を願うばかりであります。

さて、昨年11月15日には、前頁のとおり越谷市長表敬訪問の後、午後5時から巡回研修会越谷大会が参加者約20名のもと盛大に開催され、その後の懇親会も大盛況に収めることができました。研修テーマは、「平成23年度消費税改正&消費税質疑応答事例集CD-ROM」で、消費税は簡単なしくみの税法ですが、クライアントと一番トラブルの多い税法でもあり、今回の改正事項案である「95%ルールの見直し」や「事業者免税点制度の見直し」は、煩雑でうっかりミスの出やすい重要な事項であり私自身も大変勉強になりました。私は越谷在住のため今回は越谷研修を担当致しましたが、今後もこうした埼玉県内巡回研修をとおして、各地域会員の方々の一助になり交流を深めて行くことができれば幸いです。



■ 埼玉県会親睦旅行 ■

平山 孔嗣

平成23年7月1、2、3日に念願でありました親睦研修旅行会を実施し、荒井会長以下総勢13名にて韓国濟州島に行つてまいりました。世界遺産の観光、ゴルフ、グルメ、円高効果を実践したショッピング、経済振興策としてわが国でも導入が検討されているカジノ施設視察など2泊3日にてんこ盛りのメニューをこなし充実した時を過ごしてまいりました。町では奥様方が韓流ブームを起こしてから久しいですが、ほんの一部ですが韓国を訪ねてみてその意味が少しわかりました。日頃肉などあまり食べない大先輩の会員の方々がカルビ焼きにおかわりをし、海鮮料理に舌鼓を打つとともに、現地のガイドさんがびっくりするほどのお酒を消費して国際収支の改善に努めました。

ゴルフ場もなかなかの距離があり普段より少し余分なスコアをたたいたような気もします。成績は宮原前会長が優勝し、溶岩でできたトロフィーと副賞の朝鮮人参を獲得しました。観光は島の成り立ちの神話に由来する三姓穴、世界遺産の城山日出峰、全長12キロも

ある溶岩洞窟の萬丈窟、島の昔の暮らしを今に伝える民俗村などをめぐり、神聖でスピリチュアルな雰囲気や雄大な景色を堪能しました。加えて民俗村の優秀なガイドさんの話術により、何かしら体に弱点をもつ参加者たちは、競ってお茶や漢方薬をどっさり買い込んでしまったというおまけまでつきました。

最終日には、濟州島の税務署等のある官庁街を訪ねましたが、あいにく日曜日だったため、車中よりの見学にとどまりました。空港に着く前に、家族より指定のあったカタツムリのクリームをやっと入手して無事帰路に着くことができました。参加された先生方には強行軍のスケジュールを快くこなしていただき本当に感謝いたします。

次回は北海道ツアーを予定しております。平成24年7月中旬で観光、グルメと有名ゴルフ場でのコンペを考えています。会員の皆様のご要望をできるだけ取り入れて楽しいものにいたします。正式なご案内は春頃させていただきますので日程の調整をお願いいたします。



総務

常任理事
土屋文実男



新年明けまして、おめでとうございます。
 埼玉県会の会員の皆様には、健やかに新春をお迎えのことと、心からお慶びを申し上げます。
 私が荒井会長のもとで常任幹事として総務を担当させて頂くようになって半年が経過し、現在の執行部はいよいよラストスパートを迎えております。
 昨年度は、埼玉県会事務所増床が実現し、埼玉県会独自の委員会活動が活発に行われ県会活動も益々充実してきております。
 従来からの東京会ガバナンス改革の一環として神奈川県会では地域化（東京会からの分離・独立）を検討しております。私ども埼玉県会でも、東京会および他県会の状況を確認しつつ、県会としての方向性の議論を深めていく必要があると思っています。
 埼玉県会の会員数は順調に増加しており、わたしたちも執行部も県会活動の拡充を従来より積極的に実施して参

ります。
 埼玉県および県内市等の行政や各種団体への広報活動、公会計への取り組みを積極的に進め、会員相互の情報交換、研修、親睦を更に充実させていただきたいと思っています。そのためには、会員の皆様の積極的な参加が必要不可欠であります。
 本年も会員の皆様のご支援とご協力を宜しくお願い申し上げます。

業務

常任理事
大野 夏美



年頭に際し、皆様のご健康と尚一層のご繁栄を心よりお祈り申し上げます。昨年度は、未曾有の大震災にも係らず、会員の皆様には多大なるご協力をいただきまして、誠にありがとうございました。昨年度と同様、今年度におきましても、業務部におきましては様々な推薦依頼について、会員の皆様のご協力を賜りたいと考えております。そのためにも、「会員の皆様のお顔が拝見できる埼玉県会」を目指したく、どうぞ、埼玉県会への積極的なご参加をお待ちいたしております。震災だけでなく、世の中では「公認会計士の意義」が問われる事件等がたびたび報道されております。今こそ、「自身が公認会計士であること」の意義を改めて考える一年になりそうだな、と感じております。先輩方を見習い、お酒を飲んでも会計の話ができる公認会計士になりたい（つまり、あっという間にただの陽気な人になってしまわない）と思います。

推薦状況

推薦月	団体名	内容	人数等
継続	埼玉県宅地建物取引業協会	宅地建物取引主任者法定講習会の講師派遣	4名~5名
	埼玉県中小企業再生支援協議会	埼玉県中小企業再生支援協議会協力メンバー	13名(登録)
	さいたま市産業創造財	さいたま市産業創造財団登録公認会計士	10名(登録)
平成22年4月~23年3月			
4月	埼玉県総務部	埼玉県朝霞地方庁舎ほかエコオフィス化改修事業提案選定会議の委員	1名
6月	川越市	川越市公開事業点検に係る点検人	1名
	埼玉県保健医療部	川越市外郭団体検討委員会に係る外部委員	1名
7月	埼玉県福祉部	埼玉県民健康福祉村指定管理者候補者選定委員会委員	1名
	埼玉県環境部	埼玉県の公の施設における指定管理者候補者選定委員会委員	2名
8月	埼玉県都市整備部	埼玉県環境部指定管理者候補者選定委員会委員	1名
	埼玉県福祉部	平成22年度埼玉県管後援指定管理者選定委員会委員	1名
	埼玉県	埼玉県社会福祉総合センター指定管理者選定委員会委員	1名
	埼玉県	埼玉県長瀬総合射撃場クレー射撃場のあり方検討委員会委員	1名
	埼玉県	埼玉県防災学習センター指定管理者選定委員会委員	1名
9月	埼玉県	埼玉県青少年総合野外活動センター選定委員会委員	1名
	埼玉県教育局	公共サービス改革法に基づく民間競争入札における評価委員会委員	1名
10月	埼玉県	指定管理者候補者選定委員	1名
	埼玉県教育局	埼玉県立げんきプラザ指定管理者選定に係る審査委員	1名
	所沢市	平成23年度所沢市包括外部監査人候補者	1名
11月	埼玉県社会福祉事業団	外部監査人	1名
	埼玉県住宅供給公社	外部監査人	2法人
1月	埼玉県教職員互助会	外部監査人	1名
2月	埼玉県福祉部	平成23年度社会福祉施設等監査指導にかかる公認会計士	1名
	川越市	川越市包括外部監査人候補者	1名
3月	埼玉県労働局	埼玉県最低賃金審議会委員	1名
	所沢市	所沢市指定管理者選定委員会委員	1名
4月	埼玉県都市整備部公園スタジアム課	財団法人埼玉県公園緑地協会監事	1名
	埼玉県企画財政部	埼玉高速鉄道株式会社経営懇話会の委員	1名
5月	財団法人埼玉県健康づくり事業団	財団法人埼玉県健康づくり事業団監事	1名
平成23年4月~			
4月	埼玉県下水道事業管理者	埼玉県下水道経営懇話会委員	1名
5月	財団法人いきいき埼玉	財団法人いきいき埼玉監事	1名
6月	埼玉県公営企業管理者	埼玉県公営企業局経営懇話会委員	1名
	さいたま市	さいたま市指定管理者審査選定委員会委員	1名
7月	さいたま市	さいたま市保育所設置・運営法人選定会議委員	1名
	埼玉県知事	西部地域振興ふれあい拠点施設(仮称)民間にぎわい施設事業者選定審査委員会委員	1名
8月	埼玉県道路公社	埼玉県道路公社監事	1名
9月	埼玉県都市整備部公園スタジアム課	平成23年度埼玉県営公園指定管理者候補者選定委員会委員	1名
10月	深谷市	深谷市外部評価委員	1名
	埼玉県教育委員会	埼玉県立名栗げんきプラザ指定管理者選定に係る選定委員	1名
11月	埼玉県知事	埼玉県公益法人認定等審議会委員候補者	1名
	さいたま地方裁判所川越支部	株式の鑑定に係る評価人	1名
12月	埼玉県県営競技事務所	埼玉県競輪開催業務委託事業者審査委員会委員	1名
	埼玉県教職員互助会	埼玉県教職員互助会資産運用アドバイザー	1名
さいたま市	さいたま市下水道事業審議会委員	1名	

広報

副会長
佐久間仁志



新年あけましておめでとうございます。
 会員の皆様には、健やかに新年をお迎えのことと御喜び申し上げます。
 年1回の埼玉県CPAニュース、県会ホームページを中心として会計士業務をアピールしております。特に今年度は、埼玉県会ホームページのリニューアルが完了し、平成24年1月から新しい埼玉県会の窓口として利用できるようになりました。これを契機にして、「地域社会に貢献する」公認会計士の役割、重要性を従前にも増して積極的にアピールするとともに、県会会員の皆様へ、研修や行事などタイムリーな情報を提供してまいります。会員の皆様にはホームページを積極的に利用していただき、有効なコミュニケーションの場となりますよう期待しております。さらに、新聞企画記事等の活用も考え、ホームページと共に、埼玉県民の皆様にも会計士業務を身近に感じていただくよう工夫をしていきたいと思っています。公認会計士が果たす地域社会への役割のアピールにつきましては、会員の皆様一人一人の業務活動、意識に大きく影響するところと思いますので、会員の皆様の一層のご協力をお願い申し上げます。

研修

副会長
西川 正純

新春のお慶びを申し上げます。埼玉県会の会員の皆様には、すこやかな新春をお迎えのことと存じます。

埼玉県会では、県会会場だけでCPE40単位の取得を目標に研修計画を考えてきました。会員の皆様方のご助言、ご協力により、充実した研修を行うことができたことに感謝しております。

昨年は、大宮からの出前出張研修として実施してきました「川越研修」の次の研修地として、11月に初めて「越谷研修」を行うなど、県会事務所以外での研修の拡大を目指しております。

また、研修は上場会社や大会社の監査に係るような研修ではなく、県会会員の実務に役立つような内容となるようテーマを選んでいく予定であります。昨年は、県会総会時では、公認会計士の高梨智弘先生による「組織戦略（理想の組織とは）」、忘年会研修では埼玉県行政ITアドバイザーの武城文明先生による「自治体支援戦略の歴史と今後の展望」と東京中小企業投資育成株式会社の瀬口敬三先生による「最近の事業承継の動向」といったテーマの研修会も行ってきました。

今後、公会計、公益法人会計、社会福祉法人会計、学校法人会計、税務、企業再生などの研修を取り入れていきたいと思っておりますので、研修テーマとしてご希望等ございましたら、県会事務局まで連絡いただければ幸いです。



埼玉県のマスコット コバトン

親睦

副会長
平山 孔嗣

あけましておめでとうございます。

日頃は会員の皆さんの絶大なるご協力のおかげをもちまして、各地区会随一の楽しい会が運営できていることに感謝申し上げます。昨年はゴルフ会、スリーデーマーチ参加、忘年会、地域親睦会に加えまして旅行会と友好士業のボーリングを企画いたしました。特に念願の旅行会は済州島に11名の参加を得て無事終了し、今年は北海道の旅を7月に予定しております。県会は会員の皆様の身近なコミュニティとして気楽に活動できる場です。今後も、「楽しくなければ県会じゃない」を合言葉に企画いたしますので、皆様ふるってのご参加をお願いいたしますとおもに、何かご提案がありましたらどんどん上げていただきますようお願いいたします。

事務局

池本 和子



会員の皆様には、清々しい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。昨年11月にお蔭様で県会事務所がリニューアルオープンし、事務局も2名体制となりました。皆様へのサービスの充実を心がけてまいります。本年もよろしく願い申し上げます。

井原 紀子



会員の皆様には、お健やかな新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年10月より事務局にてお世話になることとなりました。一生懸命務めますので、ご指導の程どうぞよろしくお願い申し上げます。

平成23年度 実績及び予定

月日	テーマ	場所	参加者	講師名	単位
6月25日	定期総会・研修会（組織戦略（理想の組織とは））	ホテルプリランテ武蔵野	72名	高梨智弘氏	4
7月6日	本部定期総会	県会事務所	40名	（ライブ配信）	4
8月4～5日	夏季全国研修会①	県会事務所	56名	（ライブ配信）	12
8月18～19日	夏季全国研修会②	県会事務所	100名	（ライブ配信）	12
9月30日	月次勉強会（「倫理規則」等改定に伴う今後の実務上の留意事項について）	県会事務所	12名	集合研修DVD	2
10月5～7日	秋季全国研修会	県会事務所	68名	（ライブ配信）	18
10月6日	公会計委員会勉強会第1回	県会事務所	19名	平山孔嗣氏 飯野浩一氏	2
10月22日	巡回研修会川越大会（サービサーとの付き合い方）	東上パールビル	12名	検本浩司氏	3
11月15日	巡回研修会越谷大会（平成23年度消費税改正&消費税質疑応答事例集）	砂場南越谷店	20名	集合研修DVD	2
12月7～9日	冬季全国研修会	県会研修室		（ライブ配信）	18
12月17日	定例研修会（①自治体支援戦略の歴史と今後の展望 ②最近の事業承継の動向）	県会研修室		①武城文明氏 ②瀬口敬三氏	4
12月26日	公会計委員会勉強会第2回	県会研修室		中村元彦氏	2
1月19日	新春全国研修会	県会研修室		（ライブ配信）	6
2月7日	研修会（学校法人会計、他）	県会研修室		埼玉県学事課、他	3
2月8～10日	春季全国研修会	県会研修室		（ライブ配信）	18
3月29日	公会計委員会勉強会第3回	県会研修室		宮原敏夫氏	2
平成23年度合計					112

平成24年度 予定

月日	テーマ	場所	参加者	講師名	単位
4月未定	月次勉強会（テーマ未定）	県会研修室		集合研修DVD	2
6月23日	定期総会	県会研修室		—	1
	研修会（テーマ未定）	県会研修室		未定	3



健康が いちばん！

工藤 道弘

人生を楽しく、かつ有意義に暮らしていくには、やはり健康でなくては意味がありません。健康であればこそ、仕事も頑張れるし、家族とも楽しい毎日が送れるというものです。そのことを強く意識しながら、健康維持のため、日々ダイエットに励んでいます。その努力の一端をご披露したいと思います。

私がダイエットに目覚めたのは、平成20年から始まったメタボ検診がきっかけです。それまでも毎年人間ドックを受けていたのですが、ただ漫然と受けていただけで、その結果によって何かしようとは考えていませんでした。

ところが、平成20年、メタボ検診が義務化され連日テレビで話題になる中受けた人間ドックで、ショックな出来事が起こりました。エコー検査で、担当していた女性が、突然「うわー、内臓脂肪がべったり。」と大声を發したのです。その言い方が癪に障り、「絶対に痩せてやる。」とダイエットを決心。もともとストイックな生活が好きなたちなので、ダイエット生活に突入するのは特に苦になりませんでした。

本当は運動を取り入れながらのダイエットが望ましいのですが、忙しい毎日の中、なかなか運動のための時間が確保できません。それで私の場合、食事療法のみで進めました。私が採った方法は、食事は腹八分目までにすること、間食をしないこと、毎日ヘルスマーターに乗ることの3点です。

この中でいちばん大変だったのが、腹八分目です。それまでは、腹十分目以上食べることが多かったため、食べる量が2割以上減ったような感じでした。かなりお腹がすくのですが、そこは我慢です。慣れるまではふらふらになりながら必死でこ

らえました。間食をしないということは、苦も無くクリアー。毎日ヘルスマーターに乗るのは、逆に楽しみでした。体重が減っていくのを確認するのが楽しくて、毎日欠かさず乗りました。でも、友人知人と会食する時は、相手に失礼がないように、大いに食べて飲んでと以前と同じように食事をしました。その場合、次の日の体重に必ず結果として表れます。毎日体重をチェックするのは大事なことだと感じました。

ダイエット2年で、身長から計算した標準体重となりました。人間ドックもすべてクリアーです。目標達成といった感じだったのですが、ダイエットが楽しくなり、そのまま同じような生活を続けていました。そうしたら、3年目の昨年、体調を崩してしまいました。体重が減り過ぎて体力が落ちてしまったようです。現在体調は特に悪くはないのですが、標準体重に満たない状態が続いているため、逆に体重を増やすべく少し多めに食べるようにしています。

昨年の10月に、知人が58歳の若さで亡くなりました。亡くなるまでの4・5年間入退院を繰り返し、本人だけでなく家族も大変だったようです。身近な人が亡くなると、余計に健康の大切さを痛感します。私は生涯現役を続けたいと思っていますので、過度なダイエットにならないよう、またリバウンドしないよう、体調管理に注意しながら健康な毎日を送っていきたいと思います。



埼玉県のマスコット コバトン



ニューヨーク シティマラソン!

宮城 由美子

駆け込み乗車をするのが辛くなったから、それがきっかけでした。気がつくともフルマラソンをやっていました。今回4度目の舞台に選んだのはニューヨーク。ニューヨークシティマラソン、ニューヨークの5つの区全てを走る世界最大級の市民マラソンです。11月6日(日)に開催された今年の大会、完走者は46,795名(日本人458名)。沿道200万人の声援を受け走ります。今回は諸事情により走り込み不足。アップダウンの多いこのコースでどこまで脚がもつやら。

<0-5km 24:06>

スタートはスタテン島。星条旗を見上げアメリカ国歌を聴きます。その後フランク・シナトラの「ニューヨーク・ニューヨーク」が流れるなかスタート、42.195kmの旅が始まります。いきなりアメリカ国内最長の吊橋、傾斜がきついですがマンハッタンの摩天楼と自由の女神がきれいに見渡せる場所です。

<6-10km 23:57>

<11-15km 23:54>

<16-20km 24:20>

ブルックリン。住宅街ですからこういう機会でもない縁のない場所。目抜き通りは大観衆が絶

えることなく。ここは人種のサラダボウル、沿道の音楽も次々と変わります。

<21-25km 25:45>

クイーンズ。そしてコース最大の難所クイーンズボロブリッジ。1kmの上り坂はハーフを過ぎて疲れを感じ始めた身体にはこたえます。でも、恐れていたほどのペースダウンは無く少し自分の成長を感じました。

<26-30km 25:15>

いよいよマンハッタン!地鳴りのような大歓声に迎えられ、まっすぐな一番街を一気に北上!

<31-35km 29:26>

いったんブロンクスに入り、再度マンハッタンへ。フルマラソンには「30kmの壁」があるといえます。突然の過呼吸…。走り込み不足だった身体が悲鳴を上げ始めました。五番街を南下しセントラルパークへ。

<36-40km 29:04>

セントラルパークの木立のなか、とにかく息を吐くことに集中します。呼吸をし続けるために。ふと娘のことを思い出しました。自分がここで頑張らなきゃ、もう娘に頑張れって言えない気がしてそれが支えになって走り続けます。

<41-42.195km 11:59>

残り400m地点の電光掲示板、もうひと頑張りが出来れば来年の参加資格獲得タイムであることに気づきます。ゴール前は上り坂、でもダッシュしました。そしてゴール!「3:37:46」来年はNYRRから招待状が届きます。

そうそう…。きっかけだった駆け込み乗車、いまでは狙った電車は必ずゲットです。階段一段抜かしも苦じゃないですから!





「さいたま市保育所設置・運営法人選定会議委員」 に推薦されて思うこと

櫻井 茂

新年明けましておめでとうございます。本年が皆様にとって良い年でありますように願っております。

今度、大宮駅西口第四地区複合施設内に設置される予定の私立保育所を選定するにあたり、客観性と専門性を確保する為に、外部委員を含めた委員により審査を行う。ということでその委員の一人に推薦されました。この原稿執筆段階では、予定会議6回のうち2回を経過した時点ですが感じていることを述べたいと思います。

保育所の位置づけは、「社会福祉法では、第2種事業であり、児童福祉法24条・39条で、日日保護者の委託を受けて、保育に欠けるその乳児又は幼児を保育することを目的とする施設とする。又、特に必要がある時は、日日保護者の委託を受けて、保育に欠けるその他の児童を保育することが出来る。」となっています。

保育業界の現状と問題点は、①少子化による減少地区定員割れと、主に都市部の待機児童の増加②多様な保育サービスに対応する保育体制作り③保育士の不足及び質の低下対策④利用者（保護者）の非常識、無責任者の増加傾向対処策⑤国・地方自治体の財政難への対処⑥幼保一元化政策その他環境変化への対応が考えられます。

入所児童数の推移は、昭和55年をピークに平成6年が底となり、その後は、毎年増加し平成23年は、昭和55年入所児童数のピークを超えている。（参考：幼稚園の園児数は、昭和55年をピークに、現在まで毎年減少し続けている）

[厚生労働省・文部科学省各資料から作成]

保育所の入所児童数（4月1日現在）	
昭和55年（ピーク）	1,940千人
平成6年（最低）	1,592千人
平成23年（ピーク超）	2,122千人
幼稚園の園児数（5月1日現在）	
昭和53年（ピーク）	2,498千人
平成6年（保育所と比較）	1,852千人
平成23年（ピーク時最低）	1,526千人

保育所の入所児童数が増加し、幼稚園児数が減少している。このような傾向は、女性の社会進出、人口減少・少子高齢化による労働力不足・経済的豊かさを求めて、不景気による共働き世帯の増加等の就労支援他により当分このような傾向が続くものと思われます。保育所のこのような状況に対応するために各自治体は、保育所のスクラップアンドビルド・公設民営化・経営主体の多様化の促進・より一層のきめ細かい保育ニーズに応える保育サービス体制作り等を行うことにより、求められているニーズに応えようとしている。

このような状況の中で保育所設置・運営法人に応募してきた社会福祉法人・株式会社等に対して、法人の状況・保育所の運営状況・大宮駅西口第四地区複合施設内に設置される予定の私立保育所運営に関する諸計画、提案などについて応募書類を検討した。検討した中で良いと思われる社会福祉法人・株式会社数法人を選び実地調査を行った。

その後法人面接・最終審査を経て1法人が選定されることになっております。

保育に欠ける子を健やかに育て、その子を預けた利用者（保護者）が安心して働ける保育所を、長期的に亘り運営が出来る法人を選定しなければならないと思っています。

参考までに、さいたま市の今後の将来推計人口（国立社会保障・人口問題研究所）データによると、

（単位：人）	2010年	2020年	2030年
0～4歳	49,336	38,950	36,120
80～84歳	29,213	47,091	65,671
85歳～	24,739	46,237	76,225

と推計されている。このような推移をたどれば保育所が減り、代わりに老人養護施設が必要になることが考えられます。

◆ 定例研修会 2011.2.18



◆ 東日本大震災
チャリティーゴルフ会
2011.4.10



◆ 協会本部定期総会 2011.7.6



◆ 埼玉友好士業協議会
定例会・懇親会
2011.7.7



◆ 親睦ゴルフ会 (秋) 2011.9.19



◆ 公会計委員会第1回勉強会 2011.10.6



◆ 日本スリーデーマーチ (東松山) 2011.11.5



◆ 親睦ボーリング大会 2011.11.12



日本公認会計士協会埼玉県会 平成23年度役員名簿

(H23.12.7 現在)

役員名	氏名				
会長	荒井 伸夫				
副会長	小山 彰 (総務)	平山 孔嗣 (親睦)	佐久間仁志 (広報)		
	佐野 勝正 (業務)	西川 正純 (研修)			
監事	内田 俊二	櫻井 茂			
常任幹事	金井 千尋 (総務)	土屋文実男 (総務)	長谷川俊晴 (親睦)		
	深谷 豊 (親睦)	飯野 浩一 (広報)	河合 明弘 (広報)		
	大野 夏美 (業務)	工藤 道弘 (業務)	猪鼻 正彦 (研修)		
	河合あゆみ (研修)				
幹事	伊藤 英明	遠藤 忠宏	岡庭 武利	清水 秀雄	長島 良亮
	原口 博	村田 憲司			
	有限責任あずさ監査法人 佐渡 一雄				
	新日本有限責任監査法人 中島 茂喜				
	有限責任監査法人トーマツ 松田 道春				
顧問	鈴木 義夫	多田 広光	堀 一男	藤野 廣治	真下 和男
	山本 清次	三間 邦夫	蛭川 俊也	吉島 一良	坂本 隆信
	熊木雄太郎	宮原 敏夫			
相談役	石山 豊	海野 亀男	稲山十四助		

埼玉県内に事務所を有す監査法人

有限責任あずさ監査法人北関東事務所
 監査法人クラリティ
 さくら萌和有限責任監査法人さいたま事務所
 至誠監査法人熊谷事務所
 新日本有限責任監査法人さいたま事務所
 有限責任監査法人トーマツさいたま事務所

新聞掲載情報



2011.1.6 埼玉新聞

埼玉県会ホームページ
 リニューアルオープン
<http://www.jicpa-saitama.jp>

会員・準会員ページへのアクセスは下記の
 ID・パスワードをご入力下さい。

ID (ユーザー名) : ●●●●●●

パスワード : ●●●●●●

(ID・パスワードはすべて英数半角小文字です)





本年度より常任幹事として広報を担当することになりました。各事業に参加して、その雰囲気を通してでも会員の皆様にお伝えし、県会の行事に参加してみようと思っていただけるように、佐久間副会長をお手伝いしていきたいと思えます。

私ごとですが、昨年監査法人の同期入所と同じ部に配属された9名が2年ぶりに集まりました。3名はパートナー、2名は関係会社、4名は個人事務所とそれぞれ元気にやっており、昔話に花を咲かせとても楽しい時間をもつことができました。泊まり込みの研修などでまさに同じ釜の飯を食い、深夜に及ぶ仕事と遊びで、時間を共有した仲間です。2時間程の他愛もない会話ですが、明日への活力を得ることができました。

このように、会員の皆様の心の拠り所となり、明日への活力を得ることができる、そのような埼玉県会の一助となるよう微力ながらお手伝いして参ります。よろしくお願ひ致します。

(飯野浩一)

増床により一段と充実した県会事務局



受付と事務スペース



約100名収容の
研修室

今年度も、埼玉県会CPAニュース第9号を発行することができました。本号も、また20ページにわたり充実した内容になりました。原稿、写真等ご協力ありがとうございました。

突然ですが、私は麺が好きです。うどん、ラーメン、中華麺、パスタ、フォー…なんでもOKなのですが、中でも好きなのが、蕎麦です。

麺の定義は良くわかりませんが、蕎麦そのものを食材として捉えると、いわゆる細い麺の蕎麦切りというものの以外にも、蕎麦がきや、はっとうなんかもイケますね。はっとうは、会津地方の郷土料理なんでしょうか、最初に食べたのは尾瀬湖畔の店でした。平たく伸ばした蕎麦にクルミのタレをつけて食べる素朴で美味しい一品でした。蕎麦がきは、蕎麦の風味を一番楽しめる、やはり素朴な料理？食べ物ですよね。

蕎麦切りについては、蕎麦通の方が沢山いますので多くを語りませんが、皆さん、どこそこの、この蕎麦が美味しい？というこだわりをお持ちの方が多いのではないのでしょうか。地名系の戸隠そば、秩父そば…、器系？の板そば、へぎそば、皿そば、割子そば…、材料系？の更科そば、田舎そば、韃靼そば…、材料比率系の十割そば、二八そば…。これに、蕎麦つゆのこと、お店の話を加えると話題は天文学的？な領域に達して行きます（多分…）。

蕎麦が日本に伝来したのは奈良時代以前らしいですね。蕎麦は日本人の食の原点でもあるのでしょうか。麺は細く長いので、長寿と関連づけ、御祝い事や誕生日などにも食べられて来ました。皆さん、大晦日に年越しそばを食べたばかりですね。今年も、細く長くをモットーに謙虚に健康にいきますか。

(佐久間仁志)



日本公認会計士協会 埼玉県会

〒330-8669

さいたま市大宮区桜木町1-7-5

ソニックシティビル8F

TEL: 048-644-9050 FAX: 048-644-9054

E-Mail: kenkai@jicpa-saitama.jp

URL: http://www.jicpa-saitama.jp

埼玉県会 CPAニュース

発行人: 埼玉県会会長 荒井伸夫

編集人: 副会長広報担当 佐久間仁志

構成: 常任幹事広報担当 飯野浩一

印刷所: 株式会社 正文社

写真提供: 平山孔嗣